

中学歴史プリント（過去問類似）

昭和時代（戦後）

名前

得点

/9

問1 第二次世界大戦後の日本の歩みについて、1956年に実現した「日ソ共同宣言」および「国際連合への加盟」の双方に深く関わった当時の内閣総理大臣は誰ですか。（2020年 和歌山公立入試 類似）

1. 鳩山一郎 2. 吉田茂 3. 佐藤栄作 4. 田中角栄

問2 「アフリカの年」が実現した背景にある、当時の国際的な情勢や思想についての説明として最も適切なものはどれですか。

（2021年 京都公立入試 類似）

1. 第二次世界大戦を経て、植民地支配に反対する「民族自決」の動きが世界的に高まったため 2. 世界恐慌への対策として、宗主国が植民地を維持する負担を減らそうと積極的に独立を促したため 3. 石油危機によって石油価格が高騰し、産油国が経済的自立を求めて一斉に蜂起したため 4. 国際連盟がすべての植民地に対して、1960年までに独立させるべきだという決議を行ったため

問3 戦後の日本は、国際社会への復帰と近隣諸国との関係改善を進めました。1951年のサンフランシスコ平和条約による主権回復から、1972年の沖縄返還にいたるまでの外交史において、最も新しく（1972年より後に）締結された条約はどれですか。

（2018年 福岡県公立入試 類似）

1. サンフランシスコ平和条約 2. 日ソ共同宣言 3. 日韓基本条約 4. 日中平和友好条約

問4 日本の高度経済成長期における交通網の整備について述べた文として、東海道新幹線の特徴や背景を正しく説明しているものはどれですか。（2024年 長崎公立入試 類似）

1. 東京オリンピックの開催に合わせて、東京と新大阪を結ぶ高速鉄道として開通した。 2. 大阪万国博覧会の開催に合わせて、新大阪と博多を結ぶ全線高架の鉄道として開通した。 3. 高度経済成長の鈍化を受け、公共事業を抑制するために既存の在来線を改修して導入された。 4. 超電導リニア技術を世界で初めて採用し、時速500キロメートル以上の営業運転を開始した。

問5 サンフランシスコ平和条約が締結された当時の国際情勢と、日本の対応に関する記述として正しいものはどれか。（2017年 埼玉県公立入試 類似）

1. 冷戦の影響により、ソ連などの共産主義諸国とは講和を行わない「多数講和」の形で主権を回復した。 2. 平和条約の調印と同時に、ソ連との間で日ソ共同宣言が発表され、国際連合への加盟が承認された。 3. アジア・アフリカ会議に参加していたすべての国々がこの条約に賛成し、全面的な講和が成立した。 4. 講和会議において、日本は平和憲法に基づき、いかなる国とも軍事同盟を結ばない方針を表明した。

問6 第二次世界大戦後、国共内戦を経て1949年に成立した、毛沢東を主席とする社会主義国家の名称として正しいものを選択してください。（2018年 神奈川県公立入試 類似）

1. 中華人民共和国 2. 中華民国 3. 満州国 4. 大韓民国

問7 1972年に当時の田中角栄首相が中国の北京を訪問し、日中共同声明に署名したことで実現したことは何ですか。（2019年 長野県公立入試 類似）

1. 中華人民共和国との国交が正常化された 2. 日中平和友好条約が正式に調印された 3. 中国との間で貿易に関する関税が完全に撤廃された 4. 日本が連合国との講和条約を締結し独立を回復した

問8 1951年に日本がサンフランシスコ平和条約に調印し、翌年に発効したことで得られた結果として、最も適切なものはどれですか。（2023年 山形公立入試 類似）

1. 日本が独立を回復し、国際社会への復帰を果たした。 2. 日本が国際連合への加盟を認められ、国際社会の平和に寄与することとなった。 3. 日本が連合国軍最高司令官総司令部（GHQ）の統治下に入り、民主化政策が開始された。 4. 日本がソ連との国交を回復し、平和条約を締結するための協議を開始した。

問9 第二次世界大戦後、日本が連合国軍による占領を終えて独立を回復し、国際社会への復帰を果たすために、1951年にアメリカ合衆国をはじめとする多くの国々と結んだ条約を何といいますか。（2024年 愛媛公立入試 類似）

1. サンフランシスコ平和条約 2. ポツダム宣言 3. 日米安全保障条約 4. 日中平和友好条約

答え合わせ・解説

問1	答え 1 鳩山一郎	サンフランシスコ平和条約を締結した吉田茂内閣のあとを継いだ鳩山一郎内閣は、ソ連との国交回復を外交の最優先課題の一つに掲げました。1956年にモスクワで日ソ共同宣言に調印し、戦争状態の終結と国交回復を成し遂げたことで、日本の国際連合加盟という悲願を達成しました。なお、佐藤栄作は沖縄返還や非核三原則、田中角栄は日中共同声明（日中国交正常化）で知られています。
問2	答え 1 第二次世界大戦を経て、植民地支配に反対する「民族自決」の動きが世界的に高まったため	第二次世界大戦後、それぞれの民族が自らの政治的あり方を決定するという「民族自決」の原則が広く認められるようになりました。戦後の宗主国の国力が低下したことや、アジア諸国の独立に刺激を受けたことも、アフリカにおける独立運動を加速させる要因となりました。石油危機は1973年、国際連盟は1920年発足のため、時代背景が異なります。
問3	答え 4 日中平和友好条約	日本は1951年にサンフランシスコ平和条約を締結して主権を回復しました。その後、1956年に日ソ共同宣言でソ連との国交を回復し、1965年には日韓基本条約で韓国との国交を正常化しました。これらはすべて1972年の沖縄返還以前の出来事です。日中平和友好条約の締結は1978年であり、1972年の日中共同声明による国交正常化からさらに数年を経て結ばれたものであるため、選択肢の中で最も時期が遅くなります。
問4	答え 1 東京オリンピックの開催に合わせて、東京と新大阪を結ぶ高速鉄道として開通した。	東海道新幹線は1964年に開通し、日本の二大都市圏である東京と大阪を高速で結びました。これにより人々の移動時間が大幅に短縮され、ビジネスや観光に劇的な変化をもたらしました。これは、当時の「国民所得倍増計画」などに代表される経済発展を支える重要なインフラとなりました。
問5	答え 1 冷戦の影響により、ソ連などの共産主義諸国とは講和を行わない「多数講和」の形で主権を回復した。	当時の国際社会は、アメリカを中心とする資本主義陣営とソ連を中心とする共産主義陣営が対立する「冷戦」の真っ只中にありました。日本国内ではすべての交戦国と講和すべきだという「全面講和」を求める声もありましたが、吉田茂内閣は西側諸国との早期独立を優先する「多数講和」の道を選びました。
問6	答え 1 中華人民共和国	第二次世界大戦後の1949年、中国共産党が国民党との内戦に勝利したことで成立しました。毛沢東を指導者とする社会主義体制をとっており、敗れた国民党（蒋介石）は台湾へ逃れました。1912年に孫文によって建国された「中華民国」とは成立時期も体制も異なる点に注意が必要です。
問7	答え 1 中華人民共和国との国交が正常化された	1972年の日中共同声明により、それまで国交が断絶していた日本と中華人民共和国の間で国交正常化が果たされました。これにより、第二次世界大戦以来の不正常な状態が解消されました。この国交正常化を祝して、中国から上野動物園へパンダが贈られたことは、当時の友好ムードを象徴する出来事として知られています。
問8	答え 1 日本が独立を回復し、国際社会への復帰を果たした。	第二次世界大戦後の連合国との講和を目指したこの条約により、日本は主権を回復し、独立国家として国際社会へ復帰しました。国際連合への加盟は、1956年の日ソ共同宣言によってソ連との国交が回復した後の出来事です。また、GHQによる統治の開始や民主化政策は、終戦直後の1945年から始まったものです。
問9	答え 1 サンフランシスコ平和条約	第二次世界大戦に敗れた日本は連合国軍の占領下に置かれていましたが、冷戦の激化や朝鮮戦争の勃発といった国際情勢の変化を受け、アメリカを中心とする諸国との間でこの条約が結ばれました。これにより日本は主権を回復し、独立国家としての地位を取り戻しました。なお、同日に日本はアメリカとの間で日米安全保障条約も締結しています。